

01 ネット時代の成功例に学べ!

エイプリルフールを利用したPR

▶ 4月1日のエイプリルフールを、毎年様々な会社がPRに役立てている。昨年は次のような「嘘」が話題になった。

輪切りパイナップルの形をしたパイン味のアメを製造・販売する会社が、その「穴」部分だけを発売すると自社のツイッターアカウントで発表。「小粒サイズでとっても食べやすい」そうだ。

大手清涼飲料水メーカーは、新しい味のミネラルウォーター発売を発表した。それは、タイ料理でおなじみのパクチー味。ツイッターに、大きく「パクチー味」と記されたラベルを貼ったペットボトルの写真を掲載して「まるで本物のパクチーを食べているような、豊かな香りとすっきりとした後味をお楽しみください」とアピールした。

嘘をつかないでエイプリルフールを利用する会社もあった。事務用機器メーカーは、多くの企業や個人が「しょうもない嘘を用意していると思いますので、当社からはネタバレ用の素材を配布します」として、「ウソです」の文字を強調した画像を作成し、ご自由にお使いくださいとツイッターで配布した。

02 繁栄企業の成功要因を探る

捨てられないチラシ、話題になるクーポン

▶ トルコの宅配ピザチェーンは悩みを抱えていた。トルコでは、チラシは玄関先に置くため、住人の目に触れる前に風で飛ばされることが多い。

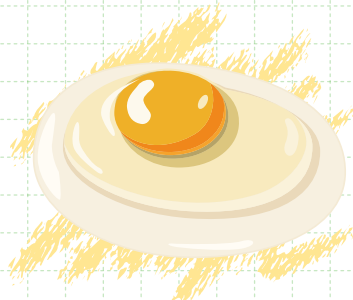
そこで、捨てられず、風に飛ばされないチラシを開発した。それは玄関マット。宅配ピザの箱の形をしたマットで、注文用の電話番号が書かれている。これを各家庭の玄関の前に敷いてもらった。

住人にとっては靴の裏を拭けて便利。帰宅するたびに目に留まるため、毎日ピザのPRをできることにもなる。

▶ 日本のハンバーガーチェーンが昨年8月31日から9月下旬までの期間限定で、トロ〜リとした半熟タマゴを挟んだハンバーガーを販売した。

同社では、半熟タマゴだけでも味わってもらおうと、そのトッピング引換券を別のハンバーガーの注文客に配布した。デザインは半熟目玉焼きの写真を切り抜いたもので、一瞬本物と見間違えるほどだ。

さらに、この券を使ったイタズラも提案。財布から取り出して「あっやっべ、半熟タマゴ落とした」とか、「お前のPCの上に半熟タマゴ落とした」とLINEしようというもの。SNSでも話題になって、PRに役立った。



Check! 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識  
要チェック!

▶▶▶ 業者に任せたままにしない  
簡単ホームページ入門《前編》

インターネットのホームページ(HP)は、仕組みは複雑で理解しにくいことから、業者任せにしている会社も多い。だが、基礎的なことを知っておくと、HPを制作する際にどれを利用するか検討しやすい。業者に依頼するとしても、打ち合わせや指示する際に役立つ。

そこで、今よく使われているHPの仕組みや特徴について簡単に紹介する。

● 専門知識がいないCMS

ホームページはHTMLでつくられている。HTMLとは、**HyperText Markup Language**の略で、インターネット上でコンテンツを表示するために用いられる言語である。

今でも多くのHPはHTMLでつくられているが、書き換えには専門的知識や作成ソフトを使うため、頻繁な更新が難しい。

それに対して、HTMLを使わずにWebサイトを作成・運営できるシステムが、**CMS(Contents Management System)**である。

HTMLでHPを制作する場合、ユーザーがパソコンで作成したページをサーバーにアップロードするが、CMSはサーバー上にシステムがあり、コンテンツを書いたり画像をアップしたりすればHPが出来上がる。そのため、HTMLなどの専門知識は不要である。

最近HPの作成・運営でよく使われている**WordPress**はCMSの一種である。

WordPressはネット上に無料で公開されているソフトをサーバーにダウンロードして利用する。そのためにドメインを取得する必要があるが、オリジナルのアドレスを使用できる。

ブログでは新しい記事が画面の上から順番に表示され、店の案内やアクセスなどの固定的に表示したいページでも後ろに送られてしまう。タイトルの下に情報を固定して表示できるブログもあるが、固定情報が多いと、下の記事が読みにくくなってしまふ。別のページにできるサービスは少ない。

WordPressには固定ページと、更新された新しい情報を表示する投稿ページがある。この2つを組み合わせると効果的な情報発信が可能だ。

また、サイトデザインも様々なテンプレートがある。PCとスマホどちらの表示にも合うレイアウトに自動変換する、レスポンシブ・デザインに対応するものも多い。

この他にもHTMLを使わずにHPをつくれる方法がある。

次号に続く

※本文中の情報は2018年1月現在のものです。